



新たな資本システムへの転換

令和7年8月14日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

グローバリズムにおける各国の物価指数とその比較は唯一正しい経済の現実への説明を与えるものである。

また賃金の水準は正しい豊かさの理解を与える基準である。

これらは完全な世界経済の転換が存在するものであり、資本という基準がそれらへの理解を与えることができるのである。

これらグローバル経済の統一がその資本において与えられるものであり、資本という基準において個別国家の経済への理解を求めることができるのである。

これらは他方において実体経済がその技術進歩における判断を与えられるものである。金融経済を支えるのは実体経済であり、その生産性が現実の維持を与えるものである。

これらは実体経済と金融経済の平行構造が存在し、それらが経済の現実を与えるものであることを理解できる。

今日実体経済と金融経済はその構造の転換を有するものである。生産性の向上は実体経済が新たな資本力を自己に与えられるものであり、金融経済が新たな利益構築を投資において有することにおいても新たな資本量における自己を与えられるものである。

これらが経済の本質を転換させ、新たな資本基準は社会における生活環境の転換を与えるものである。

これら経済の統一が世界の統一を与えることも事実である。これら新たな標準化された基準における世界の標準化は存在するのである。

これらは資本主義が世界を所有しその統一を与えるものである。しかし生存とその要求という原則は、生存という絶対的における世界の再構築を与えるものであることは理解されるべきである。